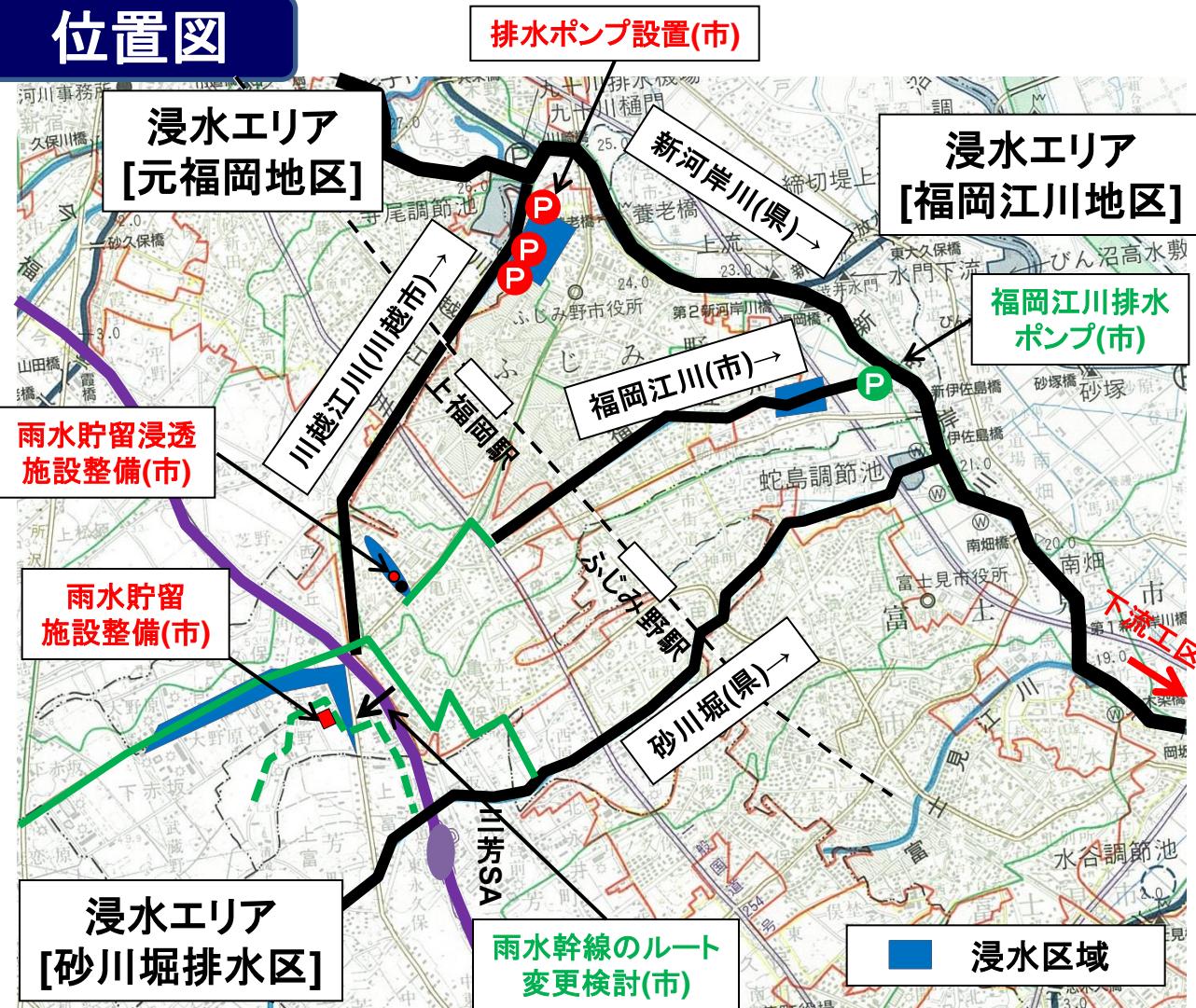


位置図



多発する浸水被害



平成25年台風26号
元福岡地区(寺尾小学校付近)

新河岸川整備状況



新河岸川下流工区
和光市新倉付近

連携施策

〔元福岡地区〕

○現状・課題

・当地区の川越江川への排水口に逆流防止ゲートが設置されておらず、水位の上昇に伴い低地部に浸水被害が発生する。

●施策

・新河岸川改修事業(下流部)の推進(県)
・川越江川への排水口に逆流防止ゲート及び排水ポンプを設置(市)

〔砂川堀排水区〕

○現状・課題

・雨水幹線のルートになっている都市計画道路が未整備のため砂川堀への排水ができていない。
・周辺地盤が低く、雨水管の能力以上の雨水が流れ込んでいる。

●施策

・新河岸川改修事業(下流部)の推進(県)
・ルート変更による下水道雨水幹線の整備促進の検討(県・市)
・雨水幹線と雨水貯留施設等の整備推進(市)

〔福岡江川地区〕

○現状・課題

・新河岸川の河川水位の上昇により排水量が著しく低下するため、排水方法の検討が必要である。
・上流の雨水幹線未整備箇所では道路冠水が発生している。

●施策

・新河岸川改修事業(下流部)の推進(県)
・福岡江川から新河岸川への排水ポンプ設置(市)
・雨水幹線と雨水貯留施設等の整備推進(市)

※その他全域で雨水貯留浸透施設の整備や内水ハザードマップの活用を推進

(赤):事業中、またはすぐに事業着手可能な施策
(緑):検討のうえ事業化を目指す施策